

村松商工会「令和3年度 景況調査」報告書

(様式④)

組織番号： 0 2 2

商工会名： 村松商工会

報告者名： 主任 本間 一志

1. 調査要領

(1) 調査対象 (R03. 10. 31現在の商工会普通会員すべてに配布)

① 対象地区 村松商工会地区内小規模事業者及び中小企業者

② 対象企業数 469 社 (うち小規模事業者数 447 社)

③ 回答企業数 **341** 社 (うち小規模事業者数 **330** 社)

(回答率： **72.7%**)

(2) 調査対象期間

令和3年7月～令和3年12月

(調査時点：令和3年12月1日現在)

(3) 調査方法

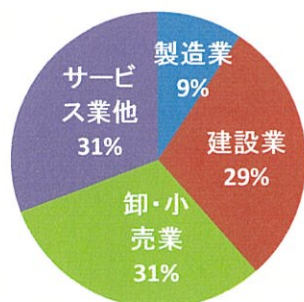
経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

及び郵送による配布・回収

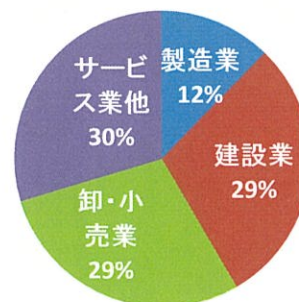
(4) 調査対象と回答企業の構成

業 種	調査対象		有効回答		
	企業数	構成比	企業数	構成比	業種別回収率
製 造 業	44	9.4%	42	12.3%	95.5%
建 設 業	137	29.2%	100	29.3%	73.0%
卸・小売業	144	30.7%	98	28.7%	68.1%
サービス業他	144	30.7%	101	29.6%	70.1%
合 計	469	100.0%	341	100.0%	72.7%

《調査対象企業数/ 469社》



《有効回答企業数/ **341**社》



2. 地域内産業全体の景況概要

地区内会員事業所の景況は、人口減少や少子高齢化の影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少・消費抑制により厳しい状況が続いている。「売上高」は、緊急事態宣言解除に伴う消費促進により約15%の事業所で「増加」するなど明るい兆しが見えたが、約5割前後の事業所が「減少」と回答、「不変」と合わせると約85%となり、業績回復には至っていない。また、原油価格高騰による物価上昇及び円安に伴う原材料や部材の価格高騰等が要因となり「仕入単価」について9割弱の企業が「増加」、「不変」と回答しており、企業収益に影響を及ぼしている。一方で「雇用動向」については、「不変」が全体の約9割と前年に比べ大きな変化はなく、業績が厳しい中でも助成金を活用しながら雇用を維持していることが窺える。「景況判断」における今後の見通しについては、63.6%の企業が「悪化」と回答しており、変異株によるウイルス感染拡大の影響を懸念する事業所が多く見受けられた。経営上の課題については、「需要の停滞」、「仕入単価の上昇」、「受注・販売競争の激化」が上位を占める中「販売価格への転嫁難」が前年比44.8%増加しており、適正利益が確保できない要因となっている。今後はコロナ禍における経済環境の変化に対応した新商品・サービスの開発や新事業展開等、経営革新に向けた取組が求められる。詳細は、以下のデータを参照のこと。

【後継者の状況】

回答企業全体の64.2% (219社/前年度調査64.9%、前年度比△0.7%) において、現時点では後継者が「無い」と回答しており、依然地区内小規模企業等(会員)における後継者難が大きな課題となっている。

後継者 有	122社	35.8%
後継者 無	219社	64.2%

【売上高】

「売上高」は、9月末の全国的な緊急事態宣言解除に伴う消費促進により約15%の事業所で「増加」するなど明るい兆しが見えたが、約5割前後の事業所が「減少」と回答、「不変」と合わせると約85%であり、昨年からの新型コロナウイルス感染拡大による需要減少・消費減退の影響は大きく、業績回復には至っていない。なお、変異株による新型コロナウイルス感染拡大により、今後の見通しについて「不変」、「減少」と予想する回答が94.1%を占め、先行きを不安視していることが窺える。

前年同期比

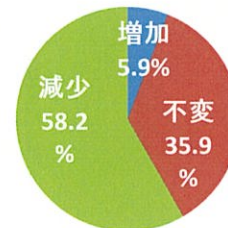
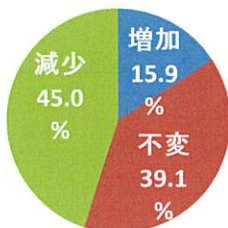
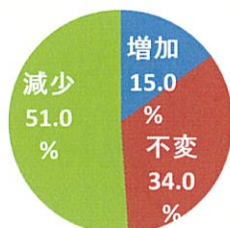
増加	不変	減少
51	116	174

前期比

増加	不変	減少
54	133	153

今後の見通し

増加	不変	減少
20	122	198



【採算（経常利益）】

「売上」と関連して「採算」についても昨年から業績が回復していない中、「悪化」と回答する企業が約5割であり、「不変」と回答する事業所も約4割いることから、コストの見直し等の経営努力が窺えるものの依然として厳しい状況となっている。今後の見通しとしては変異株による新型コロナウイルス感染が拡大しており、「悪化」と回答した企業は約6割を占め、先行きが見通せない現状から業績が回復するには時間を要すると見られる。

前年同期比

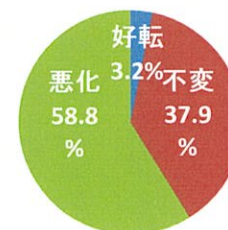
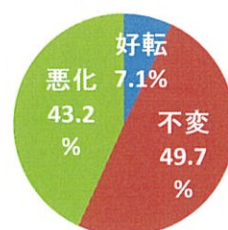
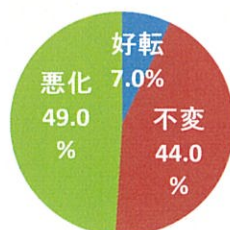
好転	不変	悪化
24	150	167

前期比

好転	不変	悪化
24	169	147

今後の見通し

好転	不変	悪化
11	129	200



【仕入単価】

「仕入単価」については、「上昇」とする回答は5割を超えており、新型コロナウイルス感染拡大の影響とともに原油価格高騰による製品単価の上昇及び円安に伴う原材料や部材の価格の高騰、供給不足等が要因となっている。「仕入単価」の上昇に対し、販売価格に転嫁できない事業所も多く、採算悪化の大きな要因となるため、原価管理の徹底・調達方法等の検討をしながら、今後の経済環境の動向などを注視していく必要がある。

前年同期比

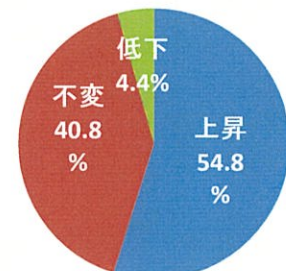
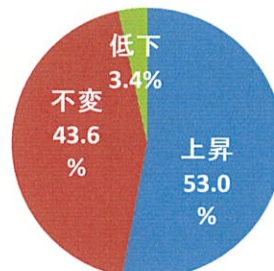
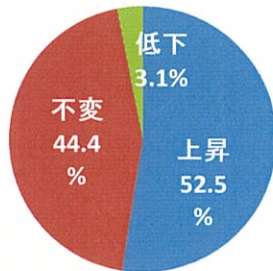
上昇	不変	低下
169	143	10

前期比

上昇	不変	低下
170	140	11

今後の見通し

上昇	不変	低下
176	131	14



【販売（客）単価】

「販売（客）単価」については、「上昇」と回答した事業所が前年調査と比べ約4%程度増加しており、一部の業種では改善傾向も見られた。しかし、「低下」との回答が前年調査と比べ約15%前後増加したことをふまえ、「売上高」と比較すると「減少」が約5割、「不変」が約4割となっており、依然として感染再拡大への不安や物価上昇により消費支出を抑制する動きが見受けられる。今後は、新しい取り組みとして新商品・サービスの開発により自社の付加価値を高め、「販売（客）単価」の向上を目指す対策が求められる。

前年同期比

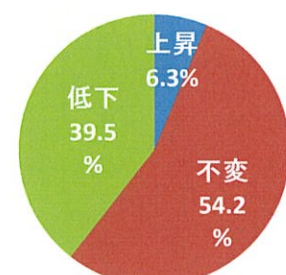
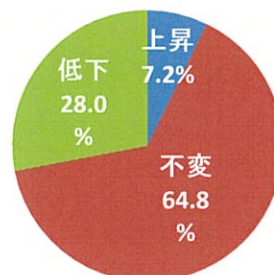
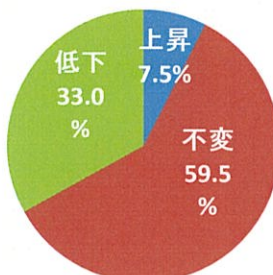
上昇	不変	低下
25	198	110

前期比

上昇	不変	低下
24	215	93

今後の見通し

上昇	不変	低下
21	180	131



【資金繰り】

「資金繰り」については、「不変」が6~7割、「悪化」が3割前後となっており、前年度調査と比較して「不変」に転じた企業は各期において約1割前後増加しているが、昨年の業績悪化をふまえると国や県、自治体によるコロナ対策助成金や融資制度を活用して資金繰りの円滑化を図ったことが窺える。なお、今後の見通しが不透明であるため、資金繰りの「悪化」を懸念する事業所が増えており、収益力向上のための対策を検討・実行しながら今後の資金繰りに注意していく必要がある。

前年同期比

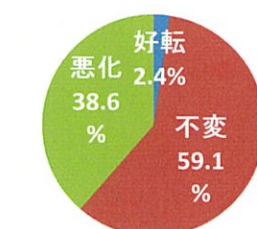
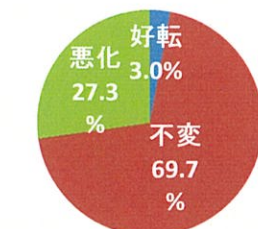
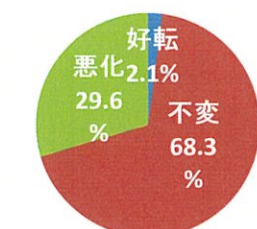
好転	不変	悪化
7	231	100

前期比

好転	不変	悪化
10	235	92

今後の見通し

好転	不変	悪化
8	199	130



【雇用動向】

雇用動向については、「減少」と回答した企業は1割以下に留まり、「不変」が全体の約9割と前年度調査と比べ雇用状況に大きな変化はなく、業績が厳しい中でも雇用調整助成金を活用した人員調整により雇用を維持していることが窺える。業種によっては慢性的な人材不足が続いており、機会ロスが増えることで経営改善の足かせとなっている。今後も新型コロナウイルスの影響は続くものと見込まれ、需要減少・消費の冷え込みによる収益力の悪化とともに、今後を見据えた人材確保や育成のための対策が必要となる。

前年同期比

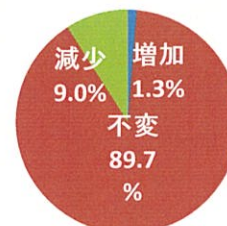
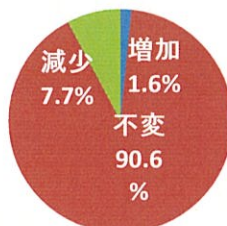
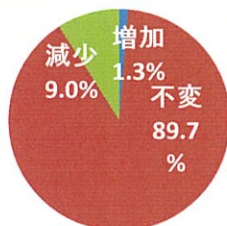
増加	不変	減少
4	279	28

前期比

増加	不変	減少
5	281	24

今後の見通し

増加	不変	減少
4	279	28



【景況判断】

景況判断については、新型コロナウイルスの影響により「不変」「悪化」とする回答が各期とも大幅に増加した。感染防止策によって需要面・供給面ともに制約される経済環境の中で業績を回復した事業所は少なく、引き続き厳しい状況であることが窺える。また、今後の見通しについても63.6%の企業が「悪化」と回答しており、変異株によるウイルス感染が急拡大したことから、今後の外出自粛による消費減退と需要減少への懸念が高まったことにより、先行きに不安を感じている事業所が多いことが窺える。

前年同期比

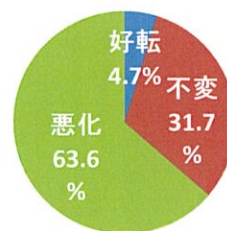
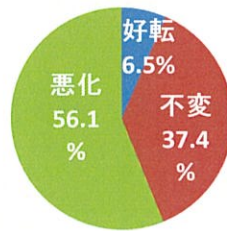
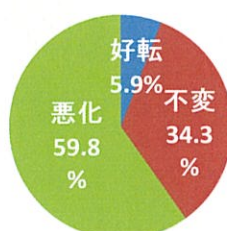
好転	不変	悪化
20	116	202

前期比

好転	不変	悪化
22	126	189

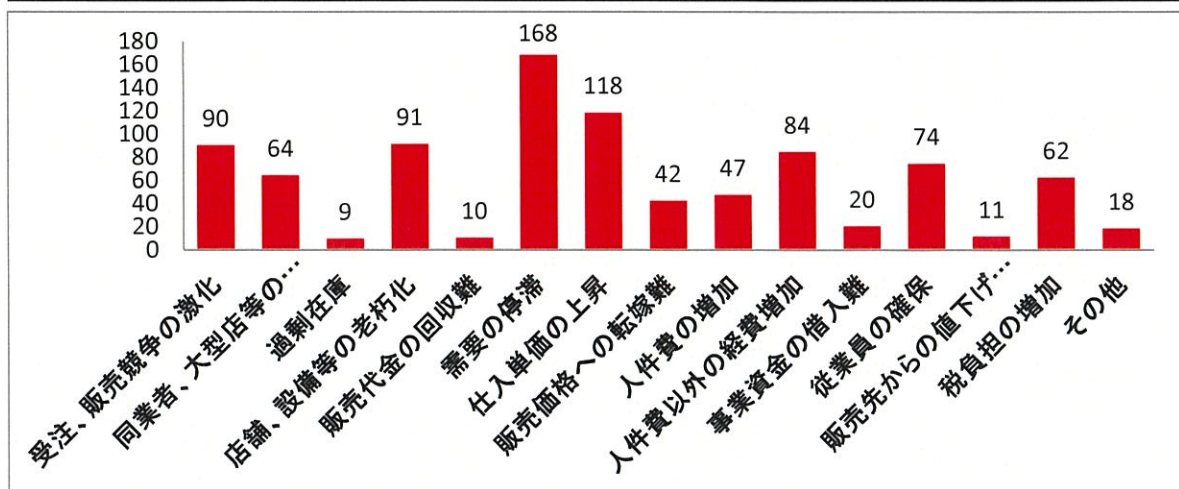
今後の見通し

好転	不変	悪化
16	107	215



【経営上の問題点】

1位「需要の停滞」、2位「仕入単価の上昇」、3位「受注・販売競争の激化」となり、引き続き新型コロナウイルス感染拡大による需要減少・消費の冷え込みの影響を受けている。特に2位「仕入単価の上昇」が前年度調査時より45.7%増加しており、原材料や部材等の価格高騰及び供給不足等によるコストの増加が事業者の経営を圧迫させている要因となっている。また、「販売価格への転嫁難」についても前年比44.8%増加しており、適正利益が確保できず、さらなる業績悪化の要因となっている。今後はコロナ禍における経済環境の変化に対応した新商品・サービスの開発や新事業展開等、経営革新に向けた取組が求められる。



3. 産業(業種)別景況概要

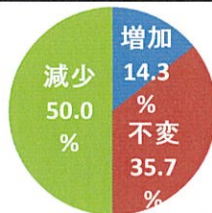
(1) 製造業

「売上高」が「増加」したとの回答が前年同期比(R2年7~12月)、前期比(R3年1~6月)とも約11%の増加となり、明るい兆しが見えたものの、変異株による新型コロナウイルス感染拡大に伴う消費減退による生産量の減少を危惧する事業所が多く、「今後の見通し」として「悪化」・「不変」との回答が95%前後となった。また、上昇傾向であった「仕入単価」についてほとんどの企業が「増加」・「不変」と回答、全業種の中でも最も影響を感じている事業所が多かった。さらに、「販売単価」も3割程度「低下」と回答しており、依然として製造コスト増加に対し適正収益を確保できておらず、収益を圧迫している状況が窺える。経営上の問題点では「需要の停滞」・「仕入単価の上昇」が多いが、特に「販売価格への転嫁難」について前年度調査時と比べ2.6倍となっている。

【売上高】

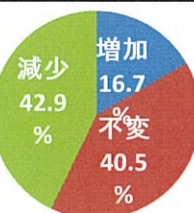
前年同期比

増加	不変	減少
6	15	21



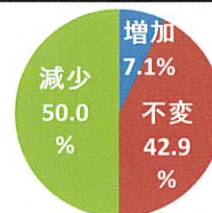
前期比

増加	不変	減少
7	17	18



今後の見通し

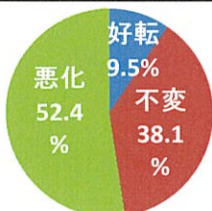
増加	不変	減少
3	18	21



【採 算】

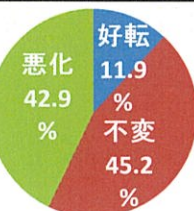
前年同期比

好転	不変	悪化
4	16	22



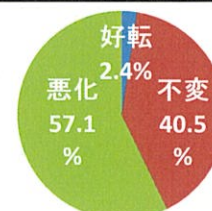
前期比

好転	不変	悪化
5	19	18



今後の見通し

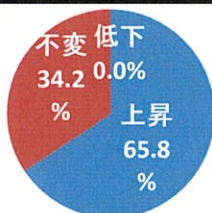
好転	不変	悪化
1	17	24



【仕入単価】

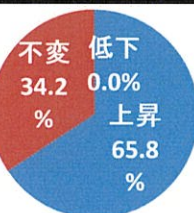
前年同期比

上昇	不変	低下
25	13	0



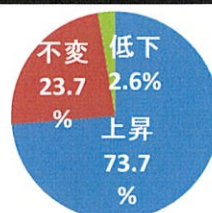
前期比

上昇	不変	低下
25	13	0



今後の見通し

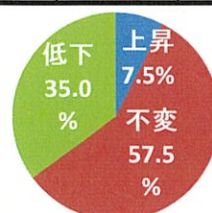
上昇	不変	低下
28	9	1



【販売(客)単価】

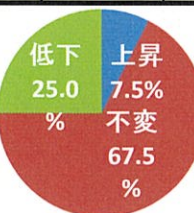
前年同期比

上昇	不変	低下
3	23	14



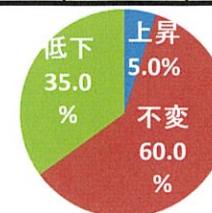
前期比

上昇	不変	低下
3	27	10



今後の見通し

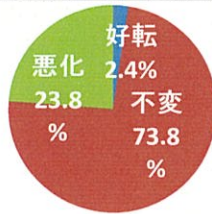
上昇	不変	低下
2	24	14



【資金繰り】

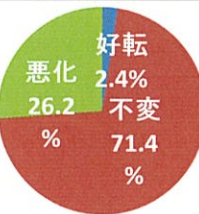
前年同期比

好転	不変	悪化
1	31	10



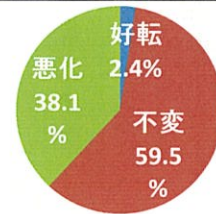
前期比

好転	不変	悪化
1	30	11



今後の見通し

好転	不変	悪化
1	25	16



【雇用動向】

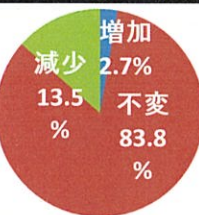
前年同期比

増加	不変	減少
0	32	5



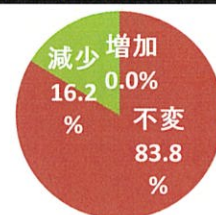
前期比

増加	不変	減少
1	31	5



今後の見通し

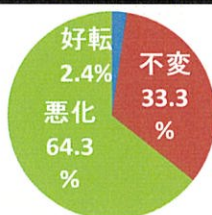
増加	不変	減少
0	31	6



【景況判断】

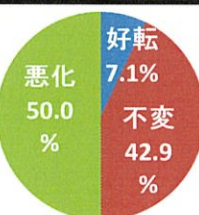
前年同期比

好転	不変	悪化
1	14	27



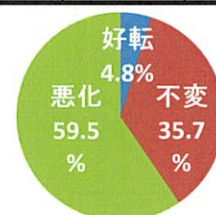
前期比

好転	不変	悪化
3	18	21

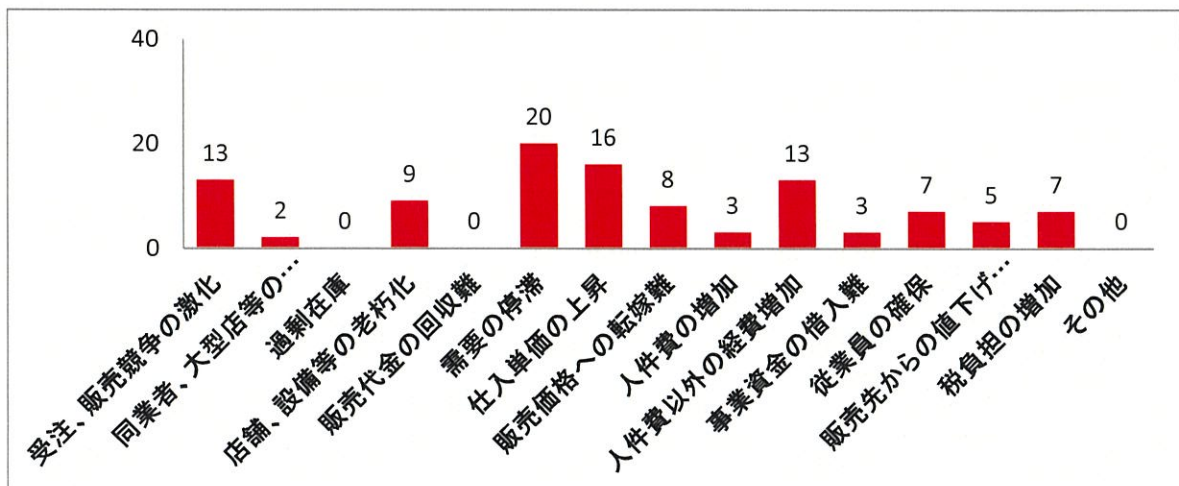


今後の見通し

好転	不変	悪化
2	15	25



【経営上の問題点】



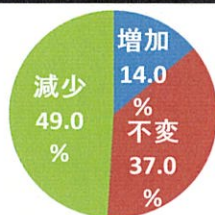
(2) 建設業

「売上」、「採算」について、昨年の業績不振からさらに「不変」・「減少」と回答した企業は9割近くとなり、経営環境は依然厳しい状況にあることが窺える。また、「景況判断」については「悪化」との回答が約5割～6割となり、予算減額による県や自治体からの公共工事抑制等が懸念され、持ち直しは期待できないとの見方がある。経営上の問題点では、1位「従業員の確保」、2位「仕入単価の上昇」、3位「需要の停滞」となり、特に「仕入単価の上昇」について「上昇」と回答した事業所が前年調査時から約3割増加しており、原材料及び部材等の価格高騰による業績圧迫に加え、入荷状況も悪化していることから今後も経営に与える影響に注視していく必要がある。

【売上高】

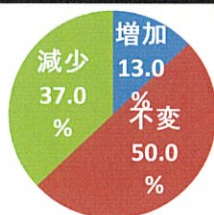
前年同期比

増加	不変	減少
14	37	49



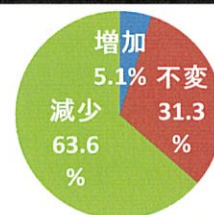
前期比

増加	不変	減少
13	50	37



今後の見通し

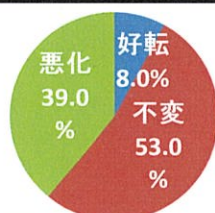
増加	不変	減少
5	31	63



【採 算】

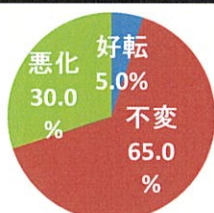
前年同期比

好転	不変	悪化
8	53	39



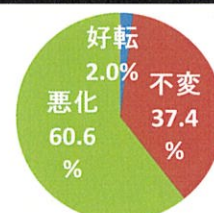
前期比

好転	不変	悪化
5	65	30



今後の見通し

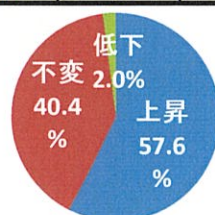
好転	不変	悪化
2	37	60



【仕入単価】

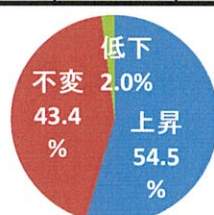
前年同期比

上昇	不変	低下
57	40	2



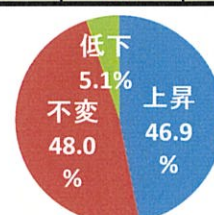
前期比

上昇	不変	低下
54	43	2



今後の見通し

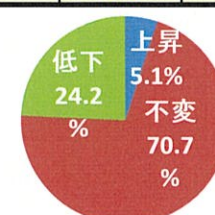
上昇	不変	低下
46	47	5



【販売（客）単価】

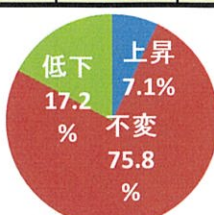
前年同期比

上昇	不変	低下
5	70	24



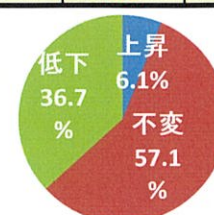
前期比

上昇	不変	低下
7	75	17



今後の見通し

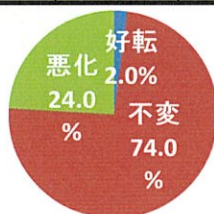
上昇	不変	低下
6	56	36



【資金繰り】

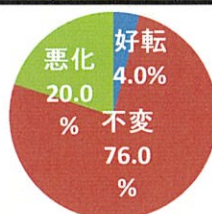
前年同期比

好転	不変	悪化
2	74	24



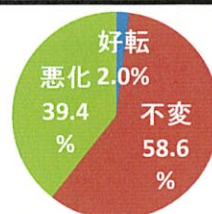
前期比

好転	不変	悪化
4	76	20



今後の見通し

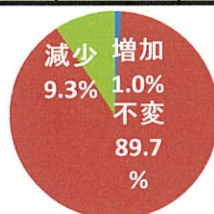
好転	不変	悪化
2	58	39



【雇用動向】

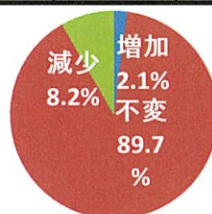
前年同期比

増加	不変	減少
1	87	9



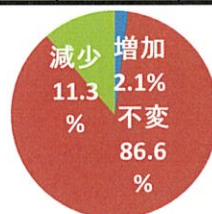
前期比

増加	不変	減少
2	87	8



今後の見通し

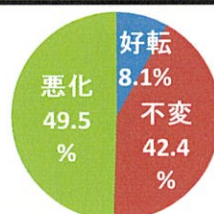
増加	不変	減少
2	84	11



【景況判断】

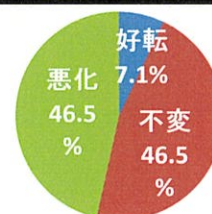
前年同期比

好転	不変	悪化
8	42	49



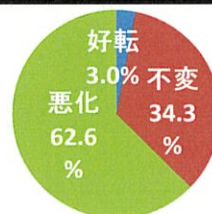
前期比

好転	不変	悪化
7	46	46

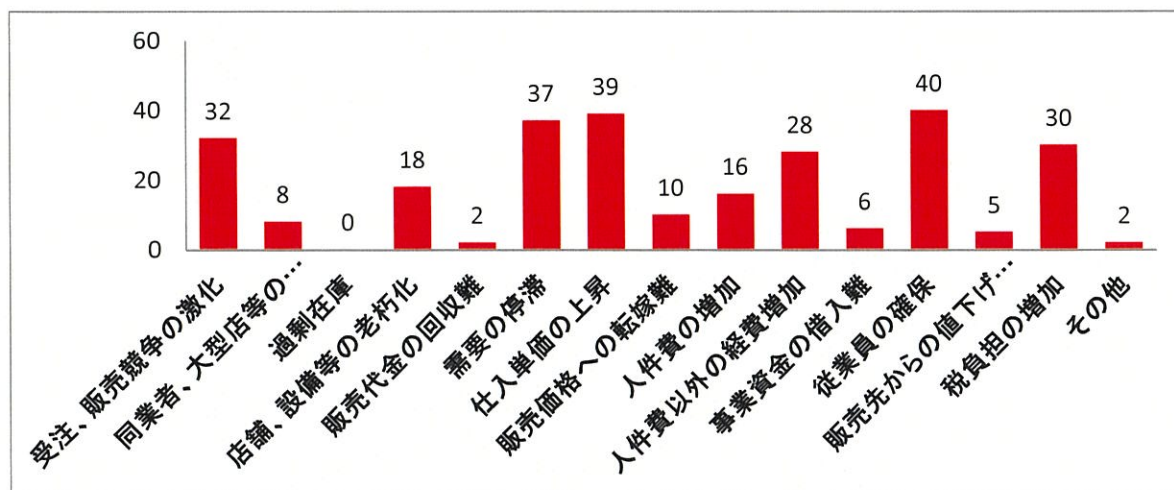


今後の見通し

好転	不変	悪化
3	34	62



【経営上の問題点】



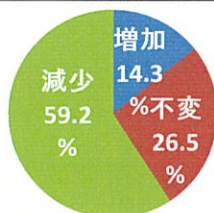
(3) 卸・小売業

新型コロナウイルス感染拡大に伴う消費減退及び外出自粛の影響が続き、「売上」、「採算」について、「減少・悪化」または「不変」と回答した事業所が約9割前後となり、全業種の中で最も業績が改善していない傾向が窺えた。また、「仕入単価」について、約3割前後が「上昇」と回答、原油及び原材料・部材等の価格高騰により販売コストが増加している中、「景況判断」についても全期間を通じて「悪化」と回答する事業所は多く、今後も厳しい経営環境が続く見方が強い。経営上の問題点では、「需要の停滞」、「同業者、大型店の進出」、「店舗・設備等の老朽化」とともに「仕入価格の上昇」が前年度調査時と比べ3割程度増加しており、今後の経営環境の変化に対応しながら適正利益を確保のための対策が必要である。

【売上高】

前年同期比

増加	不変	減少
14	26	58



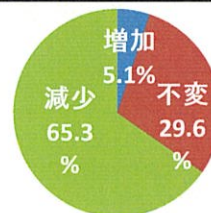
前期比

増加	不変	減少
15	32	51



今後の見通し

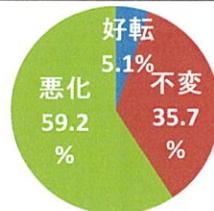
増加	不変	減少
5	29	64



【採 算】

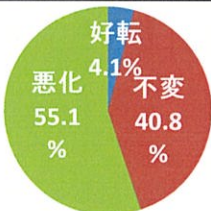
前年同期比

好転	不変	悪化
5	35	58



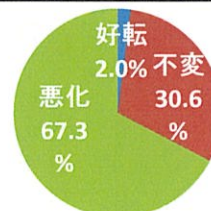
前期比

好転	不変	悪化
4	40	54



今後の見通し

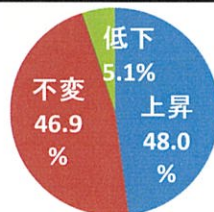
好転	不変	悪化
2	30	66



【仕入単価】

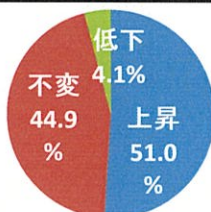
前年同期比

上昇	不変	低下
47	46	5



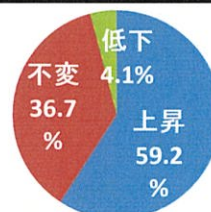
前期比

上昇	不変	低下
50	44	4



今後の見通し

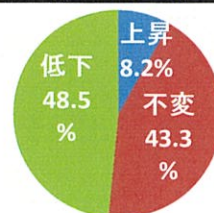
上昇	不変	低下
58	36	4



【販売（客）単価】

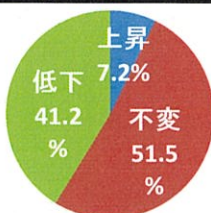
前年同期比

上昇	不変	低下
8	42	47



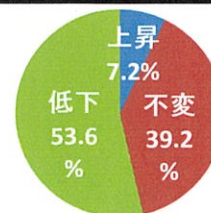
前期比

上昇	不変	低下
7	50	40



今後の見通し

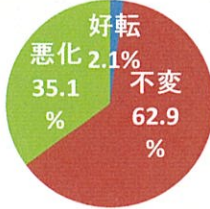
上昇	不変	低下
7	38	52



【資金繰り】

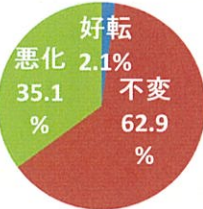
前年同期比

好転	不変	悪化
2	61	34



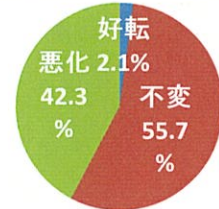
前期比

好転	不変	悪化
2	61	34



今後の見通し

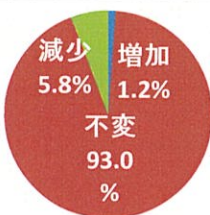
好転	不変	悪化
2	54	41



【雇用動向】

前年同期比

増加	不変	減少
1	80	5



前期比

増加	不変	減少
0	82	4



今後の見通し

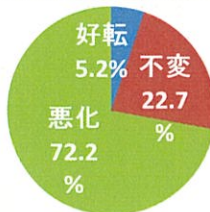
増加	不変	減少
0	83	3



【景況判断】

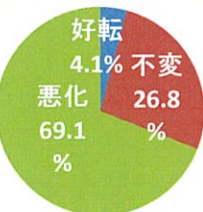
前年同期比

好転	不変	悪化
5	22	70



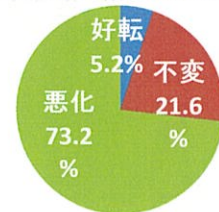
前期比

好転	不変	悪化
4	26	67

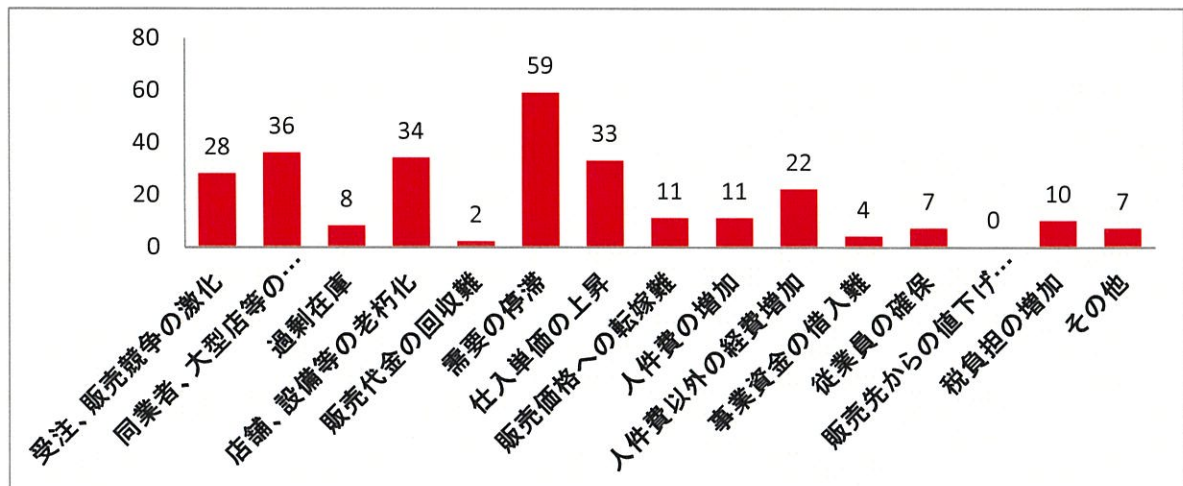


今後の見通し

好転	不変	悪化
5	21	71



【経営上の問題点】



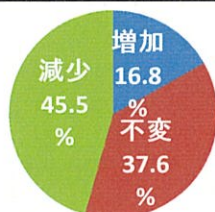
(4) サービス業他

サービス消費は感染状況に左右され、9月末の緊急事態宣言解除後から移動や会食に対する制限緩和により回復傾向にあった。そのため、「売上高」について「増加」と回答した事業所は約1割増えている。ただ、原油価格高騰によるコスト増が要因となり「仕入単価」について「増加」したとの回答が約3割、「採算」について「不変・悪化」との回答が約9割あり、業績回復には至っていない。また、今後の見通しについて変異株によるコロナウイルス感染拡大の影響で特に飲食業では、客数とともに「販売（客）単価」の「低下」とする回答が多く、依然として厳しい状況である。経営上の問題点では、1位「需要の停滞」、2位「店舗・設備の老朽化」「仕入単価の上昇」となり今後も設備更新及び事業の見直しが重要な課題となる。

【売上高】

前年同期比

増加	不変	減少
17	38	46



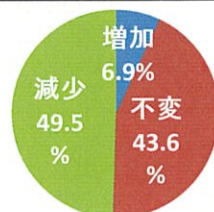
前期比

増加	不変	減少
19	34	47



今後の見通し

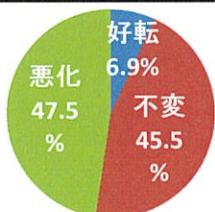
増加	不変	減少
7	44	50



【採 算】

前年同期比

好転	不変	悪化
7	46	48



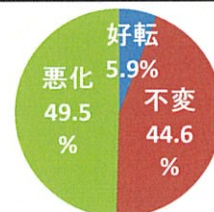
前期比

好転	不変	悪化
10	45	45



今後の見通し

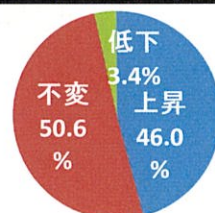
好転	不変	悪化
6	45	50



【仕入単価】

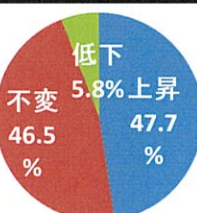
前年同期比

上昇	不変	低下
40	44	3



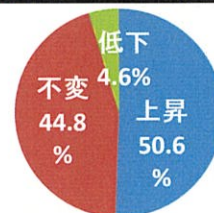
前期比

上昇	不変	低下
41	40	5



今後の見通し

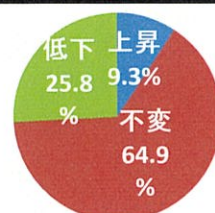
上昇	不変	低下
44	39	4



【販売（客）単価】

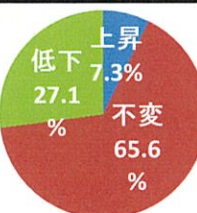
前年同期比

上昇	不変	低下
9	63	25



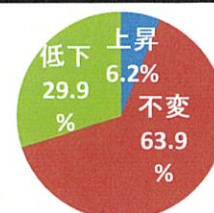
前期比

上昇	不変	低下
7	63	26



今後の見通し

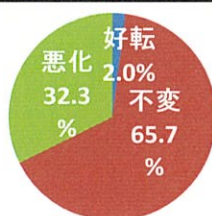
上昇	不変	低下
6	62	29



【資金繰り】

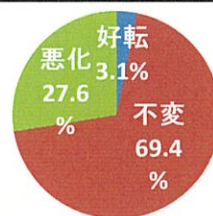
前年同期比

好転	不変	悪化
2	65	32



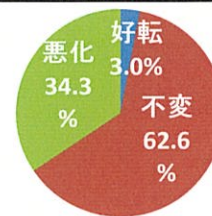
前期比

好転	不変	悪化
3	68	27



今後の見通し

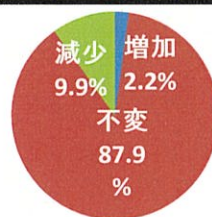
好転	不変	悪化
3	62	34



【雇用動向】

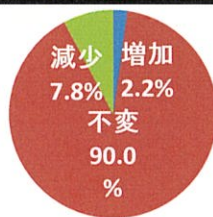
前年同期比

増加	不変	減少
2	80	9



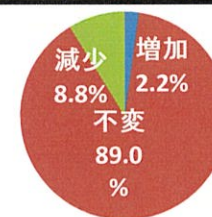
前期比

増加	不変	減少
2	81	7



今後の見通し

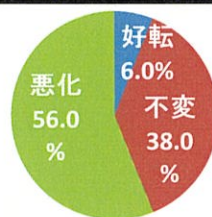
増加	不変	減少
2	81	8



【景況判断】

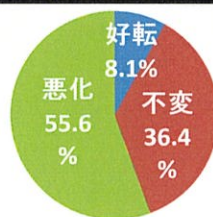
前年同期比

好転	不変	悪化
6	38	56



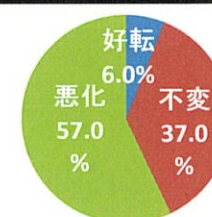
前期比

好転	不変	悪化
8	36	55

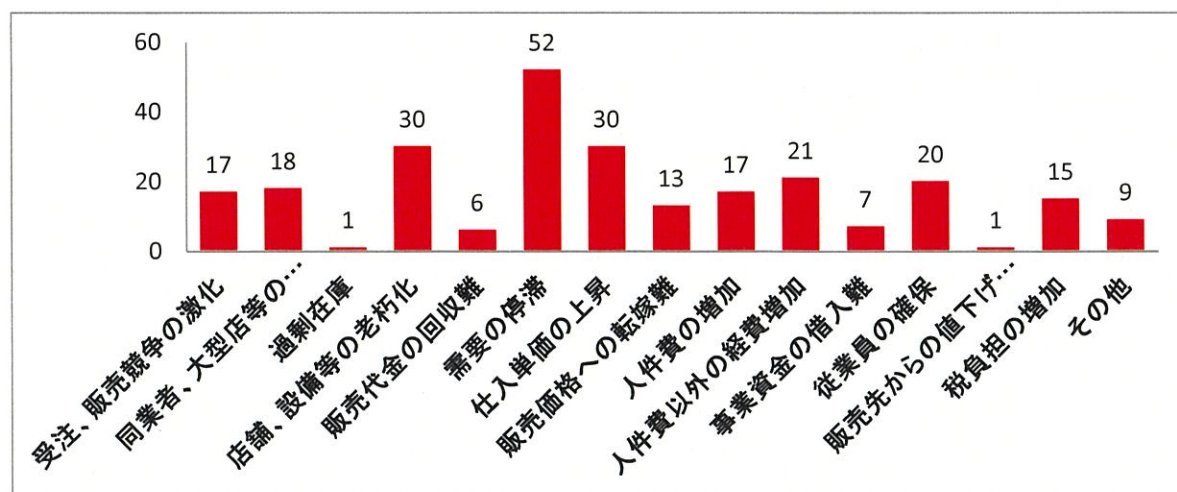


今後の見通し

好転	不変	悪化
6	37	57



【経営上の問題点】



景況調査ヒアリングシート(令和3年度)

調査対象期間（下期）：令和3年7月～12月

(調査時点 令和3年12月1日)

※この調査は、県補助事業（組織力強化事業）として県内小規模企業等の経営状況を把握し、今後の事業活動の参考とすることを目的として実施するものです。ご多忙とは存じますが、調査にご協力をお願いします。

なお、本調査内容に係る個人情報については、統計以外の目的には一切使用いたしません。

※「企業の概要」は、「業種」・「従業員数」・「後継者の有無」にお答え下さい（該当する項目に○印）

商工会名		村松 商工会	担当職員名	
企業の概要	業 種	1 : 製造業 2 : 建設業 3 : 卸・小売業 4 : サービス業他		
	従業員数(常用)	1 : 0 人 2 : 1 人～2 人 3 : 3 人～5 人 4 : 6 人～20 人 5 : 20 人超		
	企業区分	1 : 小規模事業者 2 : 小規模事業者以外 (※記入不要/事務局記載)		
	後継者の有無	1 : 有 2 : 無		

①貴社の状況についてお答え下さい。(該当する番号に○を付して下さい。)

※本調査の期間は、上期(1～6月)・下期(7～12月)の6カ月を基準として回答をお願いします。

	前年同期(令和2年7月～12月) と比較して	前期(令和3年1月～6月) と比較して	今期(令和3年7月～12月) と比較した来期(令和4年 1月～6月)の見通し
売 上	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
採算(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
仕 入 単 価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
販売(客)単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
資 金 繰 り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
雇 用 動 向	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
景 況 判 断	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

②貴社の経営上の問題点（下記より上位3つまでを選び、○を付して下さい。）

- | | | |
|-----------------|--------------|---------|
| ①受注、販売競争の激化 | ②同業者、大型店等の進出 | ③過剰在庫 |
| ④店舗、設備等の老朽化 | ⑤販売代金の回収難 | ⑥需要の停滞 |
| ⑦仕入単価の上昇 | ⑧販売価格への転嫁難 | ⑨人件費の増加 |
| ⑩人件費以外の経費増加 | ⑪事業資金の借入難 | ⑫従業員の確保 |
| ⑬販売先からの値下げ要請 | ⑭税負担の増加 | |
| ⑮その他（　　　　　　　　　） | | |

③今後の事業・経営において強化したい点等がありましたらご記入下さい(設備投資・販路開拓等)

--

※ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒にて12月15日(水)までに商工会へご返送下さい。

R3 業種別集計データ

1 製造業

	有	無	合計
後継者の有無	19	23	42
	45.2%	54.8%	

	前年同期比			前期比			今後の見通し		
	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下
売上	6	15	21	7	17	18	3	18	21
採算性	4	16	22	5	19	18	1	17	24
仕入単価	25	13	0	25	13	0	28	9	1
販売(客)単価	3	23	14	3	27	10	2	24	14
資金繰り	1	31	10	1	30	11	1	25	16
雇用動向	0	32	5	1	31	5	0	31	6
景況判断	1	14	27	3	18	21	2	15	25

2 建設

	有	無	合計
後継者の有無	39	61	100
	39.0%	61.0%	

	前年同期比			前期比			今後の見通し		
	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下
売上	14	37	49	13	50	37	5	31	63
採算性	8	53	39	5	65	30	2	37	60
仕入単価	57	40	2	54	43	2	46	47	5
販売(客)単価	5	70	24	7	75	17	6	56	36
資金繰り	2	74	24	4	76	20	2	58	39
雇用動向	1	87	9	2	87	8	2	84	11
景況判断	8	42	49	7	46	46	3	34	62

3 卸・小売業

	有	無	合計
後継者の有無	36	62	98
	36.7%	63.3%	

	前年同期比			前期比			今後の見通し		
	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下
売上	14	26	58	15	32	51	5	29	64
採算性	5	35	58	4	40	54	2	30	66
仕入単価	47	46	5	50	44	4	58	36	4
販売(客)単価	8	42	47	7	50	40	7	38	52
資金繰り	2	61	34	2	61	34	2	54	41
雇用動向	1	80	5	0	82	4	0	83	3
景況判断	5	22	70	4	26	67	5	21	71

4 サービス他

	有	無	合計
後継者の有無	28	73	101
	27.7%	72.3%	

	前年同期比			前期比			今後の見通し		
	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下
売上	17	38	46	19	34	47	7	44	50
採算性	7	46	48	10	45	45	6	45	50
仕入単価	40	44	3	41	40	5	44	39	4
販売(客)単価	9	63	25	7	63	26	6	62	29
資金繰り	2	65	32	3	68	27	3	62	34
雇用動向	2	80	9	2	81	7	2	81	8
景況判断	6	38	56	8	36	55	6	37	57

	経営上の問題点	回答数
1 101	受注、販売競争の激化	13
2 102	同業者、大型店等の進出	2
3 103	過剰在庫	0
4 104	店舗、設備等の老朽化	9
5 105	販売代金の回収難	0
6 106	需要の停滞	20
7 107	仕入単価の上昇	16
8 108	販売価格への転嫁難	8
9 109	人件費の増加	3
10 110	人件費以外の経費増加	13
11 111	事業資金の借入難	3
12 112	従業員の確保	7
13 113	販売先からの値下げ要請	5
14 114	税負担の増加	7
15 115	その他	0

	経営上の問題点	回答数
1 201	受注、販売競争の激化	32
2 202	同業者、大型店等の進出	8
3 203	過剰在庫	0
4 204	店舗、設備等の老朽化	18
5 205	販売代金の回収難	2
6 206	需要の停滞	37
7 207	仕入単価の上昇	39
8 208	販売価格への転嫁難	10
9 209	人件費の増加	16
10 210	人件費以外の経費増加	28
11 211	事業資金の借入難	6
12 212	従業員の確保	40
13 213	販売先からの値下げ要請	5
14 214	税負担の増加	30
15 215	その他	2

	経営上の問題点	回答数
1 301	受注、販売競争の激化	28
2 302	同業者、大型店等の進出	36
3 303	過剰在庫	8
4 304	店舗、設備等の老朽化	34
5 305	販売代金の回収難	2
6 306	需要の停滞	59
7 307	仕入単価の上昇	33
8 308	販売価格への転嫁難	11
9 309	人件費の増加	11
10 310	人件費以外の経費増加	22
11 311	事業資金の借入難	4
12 312	従業員の確保	7
13 313	販売先からの値下げ要請	0
14 314	税負担の増加	10
15 315	その他	7

	経営上の問題点	回答数
1 401	受注、販売競争の激化	17
2 402	同業者、大型店等の進出	18
3 403	過剰在庫	1
4 404	店舗、設備等の老朽化	30
5 405	販売代金の回収難	6
6 406	需要の停滞	52
7 407	仕入単価の上昇	30
8 408	販売価格への転嫁難	13
9 409	人件費の増加	17
10 410	人件費以外の経費増加	21
11 411	事業資金の借入難	7
12 412	従業員の確保	20
13 413	販売先からの値下げ要請	1
14 414	税負担の増加	15
15 415	その他	9